

うめつひろし 榎津博士

寒河江・山形の元気のために

県政・調査報告書

発行●榎津博士事務所 発行責任者●榎津博士
事務所●寒河江市元町三丁目3-3 大和ビル2階
電話●0237-84-7117 FAX●84-7118
URL http://h-umetsu.jp E-mail:h-umetsu@ic-net.or.jp



▼森谷氏 来年度予算では、本県農林水産業を支える基盤の確立化していくお考えですか。

■ 榎津 平成22年度予算は、農林水産業を起点とする産出額3,000億円を目指すに当たり、ホップ・ステップ・ジャンプの「ステップ」にあたる重要な予算ですが、農林水産業再生に向け、どのような戦略を持ち具現化していくお考えですか。

22年度予算における 施策について

の食品製造業もたくさんあります。原材料を県外から調達している所も多くあります。それを県内のものに切り換えていただくことによって、二重の意味で地域が潤うことになると思います。

■ 榎津 吉村知事の掲げた、農林水産業を起点とした産出額3,000億円という目標は、農産物の価格低迷や、資材の高騰などの厳しい環境に苦しんでいる農業の現場に大きな期待をもたらしています。まず、産出額3,000億円に関する施策について、何点か部長に伺います。

産出額3,000億円に向けた取組みについて

森谷裕一 農林水産部長との対談

農活力のある農林水産業を目指して

立・強化を進めながら、農林水産業元気再生戦略を具体的に展開していく考えです。戦略の実現には、現場の力を最大限に活かすことが不可欠であり、幅広い活動に柔軟に応じられるオーダーメイド型支援を大幅に拡充します。

また、収益増につながる、高付加価値で消費者・市場ニーズのある農林水産物の生産・販売には生産者と消費者(実需者)との接点を増やす必要があり、農商工連携による魅力ある產品づくり、産直活動の支援や地産地消運動の展開で、生産側の販売・需要拡大の活動を支援していきます。

■ 森谷氏 農林水産業産出額目標達成に向けて、消費者・市場ニーズに応える生産力を向上させるための施策の展開も重要なと考えますが。



■ 森谷氏 環境保全型農業の普及を進めながら、本県オリジナル品種や重点振興作物の産地の創出・拡大を図ります。

■ 森谷氏 園芸部門の活性化に向けた施策について

特に寒河江市をはじめとする村山地区は、いずれも果樹王国といつてい実績を誇っていますが、こうした果樹をはじめとする園芸部門の活性化に向けては、どのような施策を講じていかれますか。

■ 森谷氏 園芸の振興に向けては、まず、21年度スタートし、農業者の方からも意評をいたいでいるオーダーメイド型支援を大幅に拡充し、現場の意欲的な取組みや創意工夫を広く支援します。